学校番号	２１４

令和８年度　理科

教科	理科	科目	（学）化学演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	化学 708 「高等学校　化学」　(第一学習社)						
副教材等	「新課程版　セミナー化学基礎＋化学」(第一学習社) 「サイエンスビュー新化学資料」　(実教出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業の中に内容を十分に理解するよう集中力を持って受講するのが大前提です。まず、授業プリントの有効活用で基礎を定着させ、さらに問題集を活用し自己の理解力を向上させましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
化学の基本的な概念や原理・法則について体系的に理解を深め、理論化学および無機化学に関する知識を相互に関連付けて活用できるようにするとともに、問題演習を通して、入試問題に対応するための技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
複数の知識や条件を整理・統合し、化学現象を論理的かつ的確に考察する力を養うとともに、解答過程や考え方を簡潔に表現する力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】
自らの理解状況を客観的に振り返り、課題を明確にしながら、より高い完成度を目指して主体的に学習に取り組もうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学的な事物・現象についての観察，実験などを行うことを通して，化学の基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けている。	化学的な事物・現象を対象に，探究の過程を通して，情報の収集，仮設の設定，実験の計画，実験による検証，実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得している。また，報告書を作成して，科学的に探究する力を身に付けている。	化学的な事物・現象に対して主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	1章 物質の状態と平衡	4節 溶液 -1 溶解 -2 溶解度と溶解平衡 -3 希薄溶液の性質 -4 コロイド溶液の性質	a:溶液の基本的な概念や原理・原則等を理解し，科学的な探究に必要な実験などに関する基本操作や技能を身に付けている。 b: 溶液について科学的に考察・表現し，探究している。 c: 溶液について主体的に関わり，章全体を科学的に探究しようとしている。	小テスト 実験・観察 ワークシート 考査	小テスト レポート	振り返りシート 提出物等(ノート・レポート)
二学期	3章 無機物質	3節 典型金属元素 -1アルカリ金属 -2 アルカリ土塁金属 -3 両性元素	a: 無機化合物、有機化合物の多様性、性質に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b: 無機化合物、有機化合物の性質を理解し、実験結果から物質の種類を推定できるようになる。 c:「遷移元素」に関する探究活動を行い、科学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:様々な物質の状態や内部構造について理解し、知識を身に付けている。	小テスト 実験・観察 ワークシート 考査	小テスト レポート	振り返りシート 提出物等(ノート・レポート)
		4節 遷移元素 -1 遷移元素とその化合物 -2 8族元素 -3 11族元素 -4 12族元素 -5 クロムとマンガン -6 金属イオンの分離と確認		小テスト 実験・観察 ワークシート 考査	小テスト レポート	振り返りシート 提出物等(ノート・レポート)
三学期		問題演習 補足実験	a:問題演習や補足実験を通して、科学の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、課題解決に必要な知識や基本操作。技能を確実に身に付けている。 b:複数の知識や条件を整理・統合し、問題演習や補足実験における化学現象を論理的かつ的確に考察するとともに、その解答過程や探究結果を簡潔に表現している。 c:自らの理解状況を客観的に振り返り、より高い完成度をめざして、問題演習や補足実験に粘り強く主体的に取り組もうとしている。	小テスト ワークシート	小テスト レポート	振り返りシート 提出物等(ノート・レポート)

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度